

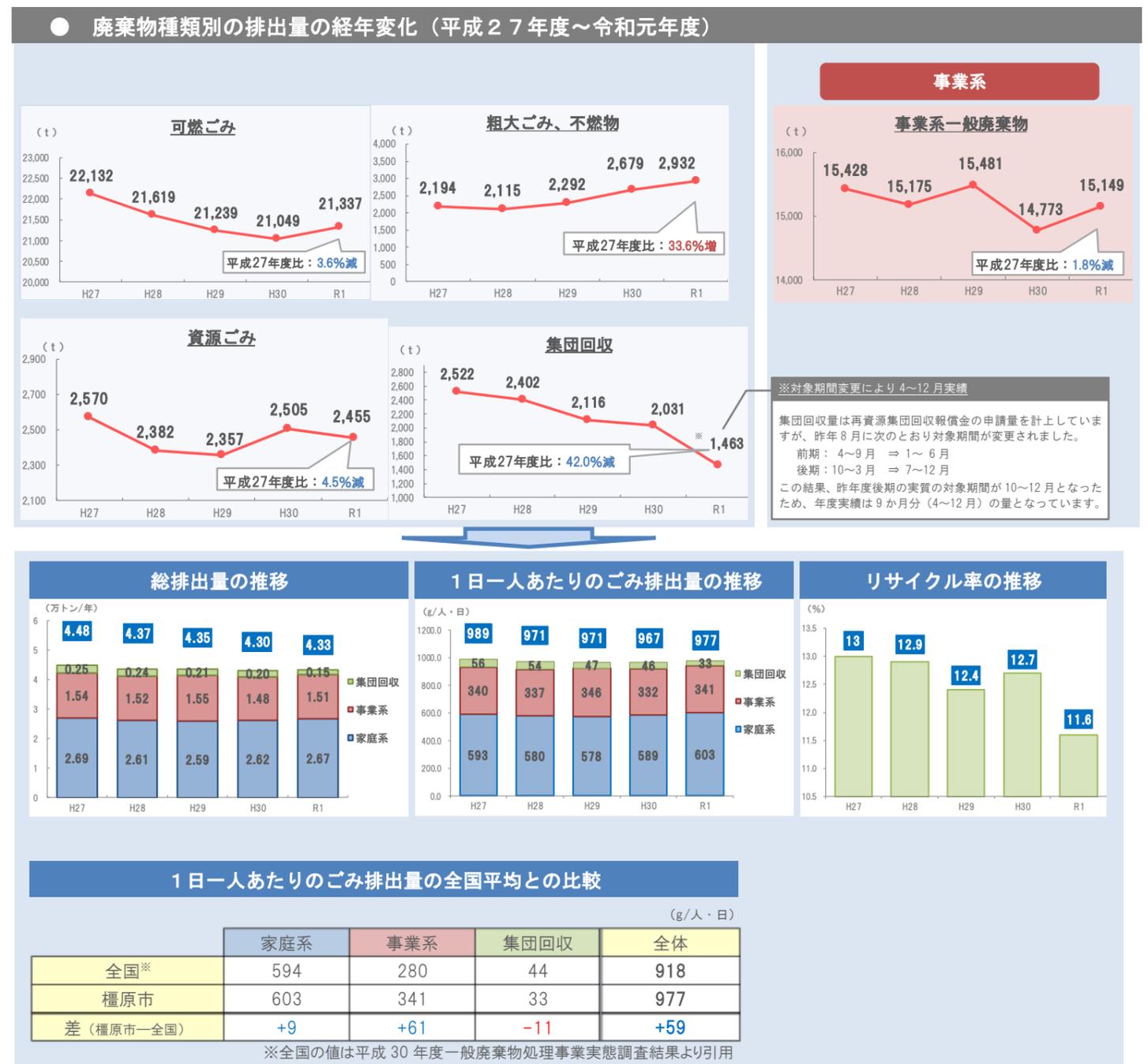
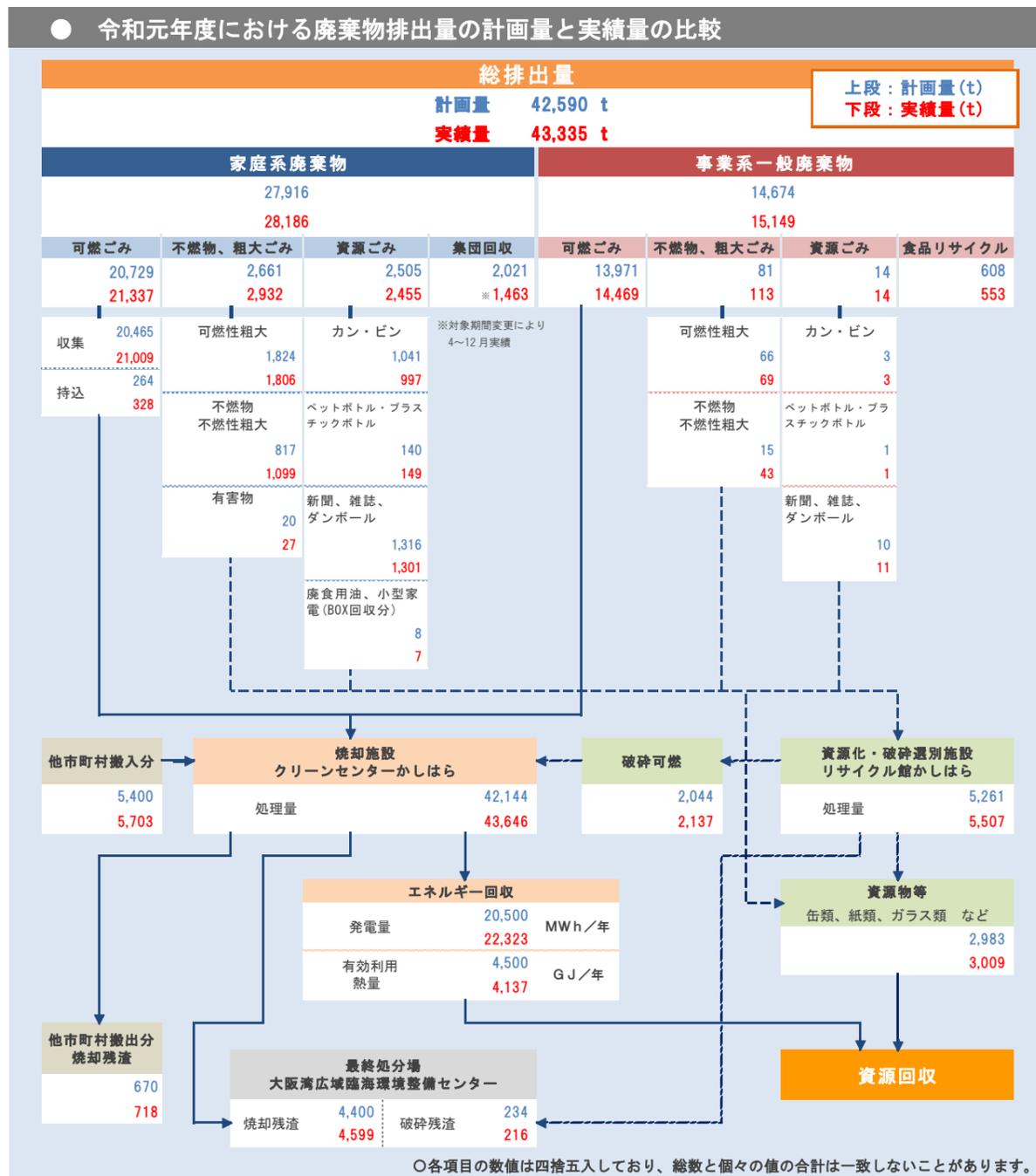
令和元年度樫原市一般廃棄物処理事業（報告）

令和元年度の樫原市一般廃棄物処理事業について、以下のとおり報告します。

1. 処理状況

本市の令和元年度における廃棄物の排出量・処理量は以下のとおりとなりました。
 家庭生活から排出された廃棄物と、事業に伴って排出された廃棄物を合わせた全体の排出量（総排出量）は43,335tであり、これは年度当初に策定した実施計画の計画量と比べ、約750t上回る結果となりました。

廃棄物の種類別に排出量の経年変化を見ると、減少傾向が底打ちし、平成30年度と比べると総排出量では約300t増加しました。
 総排出量をその年度の人口と日数で除した値（1日一人あたりのごみ排出量）は、令和元年度は977g/人・日となり、平成30年度と比べると10g増加し、全国平均（918g/人・日）と比べると59g上回る結果となりました。



2. 施策の進捗状況

(1) 排出抑制・再利用

基本方針： 排出抑制及び再利用を優先した3Rの推進

施策1 3R普及啓発事業

3Rに関する有用な情報を適切なタイミングで市民に提供します。処理施設の見学受入や出前講座の実施、不用品の還元イベントや各種教室等を開催し、環境に関する学習機会を提供します。

	H29	H30	R1
見学受入、出前講座(団体)	35	58	42
リサイクルフェア等参加人数(人)	5,109	4,518	3,435
ごみ分別アプリDL数(回)	-	1,522	4,721

施策2 処理手数料制度運用事業

ごみ処理費用の一部を排出者の負担とします。家庭系の可燃ごみに係る処理手数料は、有料の指定ごみ袋制度を運用します。

	H29	H30	R1
ごみ処理手数料収入(千円)	356,402	358,863	374,104
内、ごみ袋販売収入(千円)	168,380	171,009	183,313
年間ごみ袋供給枚数(万枚/年)	490	498	530

施策3 生ごみ減量化事業

減量化に関する手法や資源化に関する情報を発信し、生ごみの発生抑制とリサイクルルートへの誘導を図ります。市関連施設においても、生ごみ減量・リサイクルに取り組めます。

	H29	H30	R1
食品リサイクル量(トン)	580	585	553
生ごみ処理費購入補助(件)	9	9	10

(2) 再生利用

基本方針： 有用資源の回収強化及び循環利用の促進

施策4 ごみ搬入受付事業

ごみ搬入時に、分別方法、持込方法、適正処理方法を案内するとともに、資源化促進の働きかけを行います。

	H29	H30	R1
クリーンセンター受付回数(回)	46,552	47,244	52,045
リサイクル館受付回数(回)	35,749	39,004	40,887

施策5 資源物処理事業

搬入された不燃ごみ及び資源物は、市処理施設で前処理を行い、適正なリサイクルルートと財源の確保に努めます。資源物の回収強化に向けた広報啓発の充実を図ります

	H29	H30	R1
資源回収量(トン)	2,692	2,840	3,009
資源化売却益(千円)	57,778	63,198	41,246

施策6 集団回収促進事業

多くの市民が活動に参加できるような環境づくりを進めます。活動の普及促進に努め、併せて紙資源の循環強化を図ります。回収した資源物の重量に応じて市から報償金を交付し、活動を支援します。

	H29	H30	R1
登録団体数(団体)	238	241	242
資源物集団回収量(トン)	2,116	2,031	※1,463

※対象期間変更により4~12月実績

(3) 適正処理

基本方針： 効率的で適正な処理システムの構築

施策7 廃棄物等収集事業

地域特性を踏まえ、効率的にごみを収集します。ごみ排出時における利便性を高めるため、「ふれあい収集」や「リクエスト収集」を実施します。

	H29	H30	R1
可燃ごみ収集量(トン)	20,992	20,777	21,009
不燃物・粗大ごみ収集量(トン)	1,467	1,677	1,921
資源ごみ収集量(トン)	2,230	2,384	2,344

施策8 一般廃棄物収集運搬業許可事業

許可制度の運用に当たっては、廃棄物処理法に基づき、的確な審査を行い、適正に運用します。搬入物検査を実施し、適正処理を確認します。

	H29	H30	R1
許可業者数(社)	30	29	29
搬入物検査違反率(%)	0	8	3

施策9 クリーンセンターかしはら運営管理事業

長期包括運営委託事業を実施し、適正・安全な処理に加え、効率的な運営を実施します。焼却余熱を利用した発電等によりエネルギーの有効活用を推進します。

(クリーンセンターかしはら)	H29	H30	R1
処理量(トン)	40,346	40,070	43,646
突発故障による休止日数(日)	0	0	0
発電電力量(MWh)	20,608	20,954	22,323

施策10 リサイクル館かしはら運営管理事業

長期包括運営委託事業を実施し、適正・安全な処理に加え、効率的な運営を実施します。3Rの啓発拠点としての役割を強化します。

(リサイクル館かしはら)	H29	H30	R1
処理量(トン)	4,776	5,282	5,507
突発故障による休止日数(日)	0	0	0

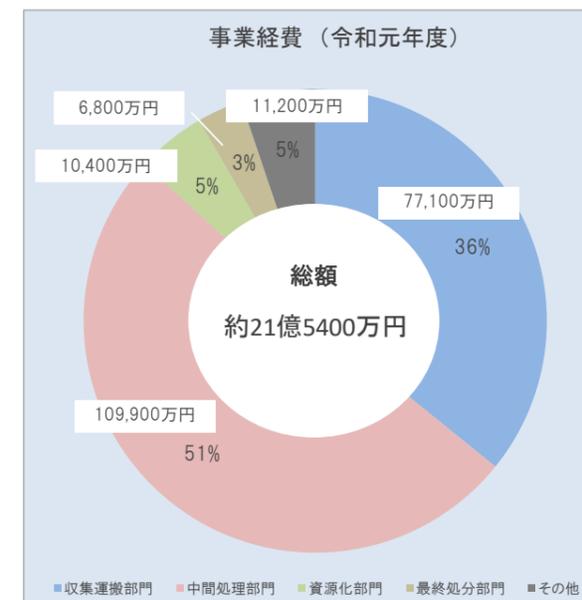
施策11 不法投棄対策事業

巡回パトロールの実施や防止看板の設置等を行い、不法投棄されにくい環境づくりに努めます。地域の力を活用した取組を推進します。

	H29	H30	R1
不法投棄件数(件)	205	167	202
不法投棄防止看板配布枚数(枚)	9	8	10

3. 事業経費

令和元年度一般廃棄物処理事業経費
 約 21 億 5,400 万円/年
 (総排出量 43,335 t → 1tあたり約 49,700 円)



(H29年度:約21億4900万円、H30年度:約21億1900万円)

収集運搬部門

・廃棄物を収集し、処理施設へ運搬する経費
 約 7 億 7,100 万円/年
 (収集運搬量 25,274t → 1tあたり約 30,500 円)

中間処理部門

・焼却処理、破砕処理に要する経費
 約 10 億 9,900 万円/年
 (処理量 46,698t → 1tあたり約 23,500 円)

資源化部門

・資源物の選別・圧縮・保管に要する経費
 約 1 億 400 万円/年
 (資源化量 2,462t → 1tあたり約 42,200 円)

最終処分部門

・焼却灰や不燃残渣等の埋立処分に要する経費
 約 6,800 万円/年
 (処分量 4,815t → 1tあたり約 14,100 円)